

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-1 子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむきっかけづくり

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	足立親子野球教室	スポーツ振興課	幼児とその保護者を対象に、親子で野球の体験ができるイベントです。株式会社読売巨人軍による野球振興事業の一環としてのイベントで、技術の向上よりも、簡単なボール遊びを親子が一緒に楽しむことで、幼児の身体を動かすきっかけとなることや、親子のコミュニケーションの機会となることを重視し、取り組みを行っています。	事業の定員に対する参加率・参加人数	年1回開催（定員：100組200人） （H30年度は222人が参加）	100% 【100組】	95% 【95組】	100% 【100組】
2	関東女子フットサルリーグ in 足立	スポーツ振興課	誰もがトップアスリートの競技を身近に観戦できるよう、女子フットサルのトップリーグの観戦会を総合スポーツセンターで開催しています。区民の運動・スポーツへの関心喚起とともに、小1～4年生とその保護者を対象としたフットサル体験会を実施し、子どもが身体を動かすきっかけづくり、親子のコミュニケーション機会の提供を行います。	事業参加者数	イベントの来場者数（年1回開催） ※観戦会と、親子体験教室（定員：40組80名）を実施	711人	88人	850人
3	足立区小学生なわとびチャレンジ	教育指導課	区内の小学校を対象に、区内共通のルールを設け、一定の条件をクリアした児童や学校を表彰します。目標に向けて学校や学級単位で取り組むことで、児童の運動・スポーツへの意欲喚起と習慣化を図ります。	実施校の割合	参加校数/小学校全校（H30：69校、R3：68校）	95.6% —	74% 22,883人	100% 28,336人
4	施設指定管理者によるプログラム（子ども向け）	スポーツ振興課	区内各スポーツ施設の指定管理者により、定期的で開催されている運動・スポーツ事業です。子ども向けのプログラムとして、「体操」「トランポリン」教室などのプログラムを展開しており、子どもが運動・スポーツに楽しむきっかけづくりを行っています。	事業実施回数	スポーツ振興課所管5施設（総合スポーツセンター、平野運動場、スイムスポーツセンター、千住温水プール、東綾瀬公園温水プール）で実施している「乳幼児」「児童・生徒」向けプログラムの年間の総実施回数	2,305回	745回	2,600回
	施設指定管理者によるプログラム（成人向け）	スポーツ振興課	区内のスポーツ施設では、子ども向けの運動・スポーツのプログラムだけでなく、成人向けにもダンスやエクササイズ教室など、様々なプログラムを実施しています。今後は、個人で気軽に参加できるプログラムや、初心者向けのプログラム、競技スポーツにとらわれず身体を動かすことの楽しみを実感できるプログラムを充実させ、ビジネスパーソンや運動・スポーツに関心の薄い区民の運動・スポーツ参画を図ります。	事業実施回数	スポーツ振興課所管5施設（総合スポーツセンター、平野運動場、スイムスポーツセンター、千住温水プール、東綾瀬公園温水プール）で実施している「若者」「壮年者」向けプログラムの年間の総実施回数	4,027回	1,497回	4,500回
	施設指定管理者によるプログラム（高齢者向け）	スポーツ振興課		事業実施回数	スポーツ振興課所管5施設（総合スポーツセンター、平野運動場、スイムスポーツセンター、千住温水プール、東綾瀬公園温水プール）で実施している「高齢者」向けプログラムの年間の総実施回数	806回	248回	900回
	施設指定管理者によるプログラム（親子向け）	スポーツ振興課	区内のスポーツ施設では、高齢者や親子、障がい者に対象を特化し、「体操」、「ヨガ」、「水泳」教室などのプログラムを実施しています。多様なライフスタイルやニーズに沿うことができるよう、様々なメニューを用意することで、運動・スポーツに取り組み区民の拡大を図ります。	事業実施回数	スポーツ振興課所管5施設（総合スポーツセンター、平野運動場、スイムスポーツセンター、千住温水プール、東綾瀬公園温水プール）で実施している「親子」向けプログラムの年間の総実施回数	750回	126回	840回
	施設指定管理者によるプログラム（障がい者向け）	スポーツ振興課		事業実施回数	スポーツ振興課所管5施設（総合スポーツセンター、平野運動場、スイムスポーツセンター、千住温水プール、東綾瀬公園温水プール）で実施している「障がい者」向けプログラムの年間の総実施回数	71回	39回	150回

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-1 子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむきっかけづくり

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
5	パークで筋トレ	スポーツ振興課	主に65歳以上の高齢者を対象に、公園や広場などを利用して、筋トレやストレッチ、コーディネーショントレーニング※1などを行います。要介護認定を受けない健康な高齢者を増やし、介護予防と地域の絆づくりを促進させることを目的として取り組んでいます。	事業実施回数 事業参加者数	①1年間の事業実施回数 《【】は参加者数（ ）内は新規参加者数》 ②「区」実施分+「地域クラブ」実施分 ※行政評価指標 (重プロNo.29 介護予防事業)	683回 【15,906人】	761回 【26,670人 (1,638人)】	828回 【28,566人 (480人)】
6	ウォーキング教室	スポーツ振興課	身近な公園施設や遊歩道等を使い、区民が安全で気軽にウォーキングを楽しむ、かつ、自ら身体活動を継続化の中で健康体力の維持・向上が目指せることを目的として、高齢者や成人女性を対象とした歩き方教室、ウォーキングの実践を行います。	事業実施回数 事業参加者数	①1年間の事業実施回数 《【】は参加者数 ※(R3)内は新規参加者数》 ②「区」実施分+「地域クラブ」実施分+「民間」実施分 ※行政評価指標 (重プロNo.29 介護予防事業)	38回 【737人】	30回 【475人 (88人)】	45回 【770人 (132人)】
7	障がい者スポーツ活動助成	スポーツ振興課	障がい者を対象に、運動・スポーツの機会の拡大・スポーツ活動の継続化を目的として、スポーツ用品の購入代金やサークル等へ所属するために支払う会費、活動場所への移動にかかる交通費など、運動・スポーツ活動にあたり生じる経費の一部を助成します。	助成金の交付者数	1年間に助成金を交付した人数 <R5年度開始>	-	-	300人 ※R7終了予定
8	ウォーキングチャレンジ・イベント	スポーツ振興課 スポーツ協会	誰もが気軽に取り組めるウォーキングは、短い距離や時間から始められるだけではなく、一人で、仲間や家族と一緒にでも無理なくできる運動です。美しい姿勢を身に付け、効果的に筋肉量や代謝を高めることができるよう、様々なイベント内での簡単な「歩き方教室」を実施します。	事業参加者数	ウォーキング教室、ウォーキングチャレンジ、リバーサイドウォーキングの合計参加者数	1,103人	1,568人	3,480人
9	文化・読書・スポーツ活動協創推進事業	地域文化課 生涯学習支援課 スポーツ振興課 中央図書館	より多くの区民が文化・読書・スポーツの楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きることができるよう、各分野相互の連携事業として、地域学習センターを中心に「ちよいスポ」「ちよい読み」「ちよいカル」を展開していきます。例えば、「ちよいスポ」では、図書館でのおはなし会の時間に親子で楽しめるペビュヨガやバランスボール体験を組み合わせた講座を行っています。	事業実施回数 事業参加者数	分野間で連携した、協創推進事業の年間の総実施回数 《【】は参加者数》	-	752回 【5,954人】	3,360回 【33,600人】
10	障がい者向けスポーツ相談窓口「あだちスポーツコンシェルジュ」の設置	障がい福祉課 スポーツ振興課	障がいや疾病等により運動・スポーツ活動に支援を必要とする区民が、気軽に運動・スポーツに取り組むことができるよう、専用の相談窓口を設置します。相談支援のみならず、関係機関との連絡調整や障がい者への運動・スポーツ活動の普及啓発に取り組めます。	障がい者が運動・スポーツに気軽に参加できる事業数	障がい者が気軽に参加できる運動・スポーツプログラムの提供数、参加者数	-	12事業 【10人】	40事業 【40人】
11	区民観戦デー	スポーツ振興課	令和4年3月に東京ヴェルディ㈱と締結した障がい者スポーツを中心とした区民の「運動・スポーツに関する基本協定」に基づき、サッカーのプロリーグの試合観戦の「区民招待デー」の実施など、民間事業者の持つ資源の提供により、「みるスポーツ」の充実を図ります。	事業参加者数	観戦参加者数（年2回開催〈WEリーグ、Jリーグ〉） <R4年度開始>	-	-	800人 【4回】
12	パラスポーツ体験会	スポーツ振興課	計画策定時には、年に1度の障がい者スポーツフェスティバルというイベントを実施していましたが、今後は日常的にパラスポーツを体験できる場や機会を提供していきます。障がい者が運動・スポーツに触れるきっかけをつくるだけでなく、障がいに応じて道具やルールなどを工夫して行うパラスポーツを体験することで障がいのない人も理解を深め、ともに汗を流すことで心のバリアフリー化を進めます	事業実施回数 事業参加者数	1年間の事業実施回数 《【】は参加者数》	1回 【337人】	21回 【474人】	36回 【1,080人】

※1 運動に遊びの要素を取り入れ、いろいろな動きを組み合わせ、神経系や運動機能の発達を促すトレーニング手法のこと。

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-1 子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむきっかけづくり

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
13	小中学校における冬期の体力向上に向けた取り組み（持久走）	教育指導課	区内小中学校において、冬期の運動習慣の形成及び体力向上のため、生徒が持久走に取り組む時間を設けます。全校において、授業の中で取り組みの時間を設けるとともに、小学校の一部では始業前、中休み等、授業外での活動の時間も設定し、独自に取り組んでいます。	区内小中学校の授業内・外の事業参加率 区内小学校の授業外の事業取組時間	授業内（A）と授業外（B）の取り組みの2形式 【A】 ①小：体づくりの運動遊び、体づくり運動 中：陸上競技（長距離走） ②実施校数/小・中学校全校 (H30：104校、R3：103校) 【B】 ①始業前、中休み等、授業外の体育的活動 ②実施校数/小学校全校 (H30：69校、R3：68校) 《（〇）は取組時間（取組時間×取組日数）》	A：100% B：92.7% 【397時間】	A：80.8% B：35.6% 【324時間】	A：100% B：92.7% 【397時間】
14	あだち放課後子ども教室体験プログラム「放課後+One」	生涯学習振興公社	自由遊び・自主学習の場である「放課後子ども教室」に、体験交流活動を+One（プラスワン）するプログラムです。放課後子ども教室を運営する実行委員会が実施しています。実行委員会は、「①見守りスタッフの声かけにより、児童が自主的に遊ぶことのできるプログラムを展開する」「②ボランティア等、地域の人材を活用する」手法で、主体的に継続可能なプログラムを行っています。公社は、周知等実施時の事務的支援や遊びに関する情報提供などを行っています。運動プログラムは、スポーツを楽しむきっかけづくりを目的として、スタッキング、モルック、手打ちテニスなどを展開中です。	運動プログラム実施校	「放課後子ども教室」における運動プログラム（スポーツを楽しむきっかけづくり：スタッキング、モルック、手打ちテニスなど）の実施校数	30校	7校	小学校全校 (67校)
15	ジュニア育成（ジュニアスポーツ大会、ジュニア育成地域推進事業）	スポーツ協会	ジュニアスポーツ大会は区内の少年・少女を対象として各種競技種目の大会を開催し、日頃の練習成果を発揮する機会を提供します。 ジュニア育成事業は、幼児から高校生の初心者を対象として、教室や講習会を実施し、競技力向上を目指す子どもたちの育成、競技スポーツの底辺拡充を図ります。	事業参加者数	ジュニアスポーツ大会15種目の参加者数	7,223人	2,338人	8,000人
16	あだちスポーツチャレンジ	スポーツ振興課	区民がスポーツに触れ、体験できる場を創出することを目的として、主に子どもを対象とし、区内の公共スポーツ施設において大会競技の体験会や、トップアスリートとの交流の機会を提供します。R3から内容を変更し、別事業として実施。	事業参加者数	区内14スポーツ施設で実施するオリパラ機運醸成イベントの参加者の総数 ※R2年度以降は5施設で実施 ※R3年度以降、トップアスリートとの交流 〈事業として実施場所を縮小し実施継続〉	1,037人	中止	500人
17	はじめてのフレイル※2予防教室	地域包括ケア推進課	65歳以上の要介護・要支援状態になるおそれのある区民を対象に、運動器や口腔の機能向上、認知症予防を目的として、軽運動や講義を、地域学習センターや住区センターなど区内各所において実施するプログラムです。※R2年度名称変更（旧「はじめてのらくらく教室」）	事業実施回数 事業参加者数	1年間の総実施回数《（〇）は参加者数（実数）》 ※R2年度から50回に拡大 ※行政評価指標 （重プロNo.19 健康寿命を延ばす介護予防・生活支援事業）	33回 【445人】	71回 【632人】	50回 【700人】
18	はつらつ教室（プール）	地域包括ケア推進課	65歳以上の介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない区民を対象に、プールウォーキングを中心とした筋力向上トレーニングなどを実施するプログラムです。	事業参加者数	3か所で開催（定員：20人、1クール8回、年間3クール）《（R3）内は新規参加者数》	1,198人	63人	- (R7終了予定)

※2 加齢により、筋力や心身の状態が低下し、衰弱した状態を「フレイル（虚弱）」といい、健康と要介護状態の間の段階のこと。

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-1 子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむきっかけづくり

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
19	はつらつ教室（室内型）	地域包括ケア推進課	65歳以上の介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない区民を対象に、フレイル予防を目的とし、有酸素運動や筋力トレーニング、口腔・栄養の学習を行うプログラムです。1クール4回、終了後は自主グループ化プログラムに参加を促します。 ※R2年度内容変更	事業参加者数	《（R3）内は新規参加者数》	7,219人	566人	900人
20	ふれあい遊ぼう（軽運動・体操）	地域包括ケア推進課	65歳以上の虚弱で閉じこもりがちな高齢者を対象に、開放的かつ他の人とのコミュニケーションを取りやすい銭湯で、健康相談や介護予防運動等を実施するプログラムです。	事業実施回数 事業参加者数	1年間の事業実施回数 《【 】は参加者数》	448回 【5,393人】	222回 【1,279人】	288回 【1,500人】
21	みんなで元気アップ教室（自主グループ化を目指した教室）	地域包括ケア推進課	65歳以上の高齢者を対象に、将来的な自主グループ化につながるような運動プログラムを活用した介護予防教室を実施します。 ※R2年度開始	事業実施クール数 事業参加者数	1年間の事業実施クール数 《【 】は事業参加者数（実数）》	-	95クール 【845人】	56クール 【880人】
22	高齢者体力測定会	地域包括ケア推進課	65歳以上の高齢者を対象に、自分の身体状態を知ってもらうことを目的とした体力測定会を実施します。 ※R2年度開始	事業実施回数 事業参加者数	1年間の事業実施回数 《【 】は事業参加者数（実数）》	-	61回 【425人】	82回 【1,500人】
23	リバーサイドウォーキング	スポーツ協会	初心者（主として高齢者）からウォーキング愛好者を対象に、荒川河川敷虹の広場から都市農業公園までの約8kmを自然に親しみながら歩き、足立区を知る機会とウォーキングの楽しさを提供し、体力の増進を図ります。	事業参加者数	イベントの参加者数（年1回開催）	366人	中止	500人
24	障がい者施設への運動・スポーツのアウトリーチ事業	スポーツ振興課	普段運動・スポーツに触れる機会の少ない障がい者施設の通所者に対し、施設内で実施できる運動・スポーツの体験会などを実施することで、障がい者が運動・スポーツを楽しむ機会を提供します。	事業実施回数 事業参加者数	1年間に行った障がい者施設へのアウトリーチ事業の実施回数《【 】は参加者数》 ※目標値達成上方修正	-	6回 【72名】	12回 【240人】
25	総合型地域クラブにおけるプログラム	スポーツ振興課	区内9つの総合型地域クラブにおいて、子どもから成人まで、高齢者や障がい者を含めたすべての人が参加できるよう、多種多様なプログラムを提供しています。運動・スポーツのプログラムのほか、英会話教室や和太鼓など、文化芸術のプログラムも展開しています。	プログラム参加者数	区内9クラブの1年間の教室、イベント、委託事業の総参加者数 ※行政評価指標（4-149地域団体活動支援事業）	47,575人	15,776人	51,000人
26	住区センター（児童館）におけるプログラム	住区推進課	子供向けのミニ運動会や親子体操などのプログラムを各住区センターの児童館において実施し、地域住民の交流の場を提供します。	事業参加者数	児童館で実施している運動・スポーツのきっかけとなる事業（ベビーダンス、ベビョカ、ひろばあそび、ミニ運動会、一輪車、卓球、ドッジボール、集団遊び等）の総参加者数	149,964人	97,723人	150,000人

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-1 子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむきっかけづくり

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
27	住区センター（悠々館） におけるプログラム	住区推進課	高齢者向けの体操、ストレッチ、バンパーなどのプログラムを各住区センターの悠々館において実施し、地域住民の交流の場を提供します。	事業参加者数	悠々館で実施している運動・スポーツのきっかけとなる事業（ラジオ体操、太極拳、氣功、ストレッチ、ヨガ、筋トレ、吹き矢、バンパー、卓球、ダーツ、ダンス等）の総参加者数 ※目標値達成上方修正	23,819人	105,901人	230,000人
28	クリスマスカップ	スポーツ振興課	関東大学バスケットボール連盟と東京都社会人バスケットボール連盟によるオールスターゲームを総合スポーツセンターで開催しています。トップアスリートの競技を身近に観戦できる機会を創出し、スポーツの振興を図ります。	事業参加者数	体験会と観戦会の参加者数（年1回開催）	(648人)	211人	800人
29	スポーツ教室、スポーツ 広場	スポーツ協会	幼児から高齢者まで年齢を問わず、初心者も気軽に参加できる運動・スポーツの教室や体験の場を提供します。 水泳・トランポリン・バレーボール・卓球・一輪車・ソフトテニス・ビーチボールバレー・武術太極拳等の幅広いカリキュラムを開催しています。	事業参加者数	スポーツ教室及びスポーツ広場の総参加者数	32,076人	10,021人	33,000人

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-2 だれもが運動・スポーツを「する」「みる」機会の充実

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	スポーツカーニバル	スポーツ振興課 スポーツ協会	毎年スポーツの日に、地域体育館等の身近な会場で、普段体験したことのない、様々な運動・スポーツにチャレンジできる事業です。「きっと見つかるあなたのスポーツ」をテーマに、運動・スポーツの楽しさを伝え、運動意欲の向上を図ります。	事業参加者数	区内14施設で行われる体験会の総参加者数（年1回開催）	6,821人	中止	8,200人
2	【再掲】パラスポーツ体験会（1-1 No.12）	スポーツ振興課	計画策定時には、年に1度の障がい者スポーツフェスティバルというイベントを実施していましたが、今後は日常的にパラスポーツを体験できる場や機会を提供していきます。障がい者が運動・スポーツに触れるきっかけをつくるだけでなく、障がいに応じて道具やルールなどを工夫して行うパラスポーツを体験することで障がいのない人も理解を深め、ともに汗を流すことで心のバリアフリー化を進めます。	事業実施回数 事業参加者数	1年間の事業実施回数 《□は参加者数》	337人 【1回】	474人 【21回】	1,080人 【36回】
3	障がい者運動教室	スポーツ振興課	障がい者が障がいの種類や程度に関わらず、安心して運動・スポーツに参加できるよう、個人の特性に合わせた運動・スポーツ（ダンスやサッカー、ライフル射撃など）の教室を、スペシャルクライフコートなどで実施します。	事業参加者数	教室に参加した障がい児・者数	-	247人 【24回】	900人 【34回】
4	スペシャルクライフコートの活用	スポーツ振興課	障がい者や子どもたちを中心に誰もが一緒に運動・スポーツを楽しめる多目的広場です。パラスポーツ体験会や運動教室、認定団体による団体利用以外は、個人利用として開放しています。貸出物品も無料で使用できることから、より多くの方にご利用いただけるよう利用推進を図ります。	事業参加者数	1年の利用者数	-	4,515人	5,500人
5	【再掲】区民観戦デー（1-1 No.11）	スポーツ振興課	令和4年3月に東京ヴェルディ(株)と締結した障がい者スポーツを中心とした区民の「運動・スポーツに関する基本協定」に基づき、サッカーのプロリーグの試合観戦の「区民招待デー」の実施など、民間事業者の持つ資源の提供により、「みるスポーツ」の充実を図ります。	事業参加者数	観戦参加者数（年2回開催〈WEリーグ、Jリーグ〉） <R4年度開始>	-	-	1,200人 【4回】
6	プロスポーツチーム、民間事業者、大学等との連携	スポーツ振興課	プロスポーツチームや様々な民間事業者や大学等と連携することで、新たな人的・知的・物的資源を活用できるよう、積極的に連携事業を推進していきます。そうすることで、今まで以上の区民に対する運動・スポーツ体験や活動の場の拡充を実現していきます。 また、区事業に大学生の学びの場をていこうすることで若い世代への関心喚起、支える人材の育成につなげます	連携事業数	①運動・スポーツイベントで、協力して実施した事業数（委託事業は含まない） ②運動・スポーツに関する専門的な見地からのアドバイスや研究協力を得て実施した事業数（委託事業は含まない）	-	-	10事業
7	【再掲】関東女子フットサルリーグ in 足立（1-1 No.2）	スポーツ振興課	誰もがトップアスリートの競技を身近に観戦できるよう、女子フットサルのトップリーグの観戦会を総合スポーツセンターで開催しています。区民の運動・スポーツへの関心喚起とともに、小1～4年生とその保護者を対象としたフットサル体験会を実施し、子どもが身体を動かすきっかけづくり、親子のコミュニケーション機会の提供を行います。	事業参加者数	イベントの来場者数（年1回開催） ※観戦会と、親子体験教室（定員：40組80名）を実施	(711人)	88人	850人
8	各種スポーツ大会の開催、選手派遣	スポーツ協会	区内在住・在勤・在学の小学生から高齢者を対象に、区民体育大会や墨東五区大会、都民体育大会予選会など、自分に合った競技レベルの大会や上部大会を目指す機会を提供し、日頃より運動・スポーツに親しんでいる区民の競技力向上を図ります。	事業参加者数	区大会、都大会予選、墨東五区大会の参加者数及びその他大会への選手等の派遣者数の合計	19,710人	4,268人	20,000人

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-2 だれもが運動・スポーツを「する」「みる」機会の充実

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
9	【再掲】スポーツ教室、 スポーツ広場 (1-1 No.29)	スポーツ協会	幼児から高齢者まで年齢を問わず、初心者も気軽に参加できる運動・スポーツの教室や体験の場を提供します。水泳・トランポリン・バレーボール・卓球・一輪車・ソフトテニス・ビーチボールバレー・武術太極拳等の幅広いカリキュラムを開催しています。	事業参加者数	スポーツ教室及びスポーツ広場の総参加者数	32,076人	10,021人	33,000人
10	東京都車いすバスケット ボール選手権大会	スポーツ振興課	日本車いすバスケットボール選手権大会一次予選会を総合スポーツセンターで開催しています。車いすバスケットボールの体験会を大会参加選手運営のもと、あわせて実施し、障がい者スポーツの理解促進を図ります。	事業参加者数	大会の中で行われる、車いすバスケットボールの体験会の参加者数（年1回開催） ※観戦会と、体験会を実施	46人	中止	70人
11	【再掲】クリスマスカッ プ(1-1 No.28)	スポーツ振興課	関東大学バスケットボール連盟と東京都社会人バスケットボール連盟によるオールスターゲームを総合スポーツセンターで開催しています。トップアスリートの競技を身近に観戦できる機会を創出し、スポーツの振興を図ります。	事業参加者数	体験会と観戦会の参加者数（年1回開催）	(648人)	211人	800人

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり

施策1-3 運動・スポーツに関する情報の効果的な発信

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	【再掲】障がい者向けスポーツ相談窓口「あだちスポーツコンシェルジュ」の設置（1-1 No.10）	障がい福祉課 スポーツ振興課	障がいや疾病等により運動・スポーツ活動に支援を必要とする区民が、気軽に運動・スポーツに取り組むことができるよう、相談窓口を設置します。相談支援のみならず、関係機関との連絡調整や障がい者への普及啓発に取り組みます。	障がい者が運動・スポーツに 気軽に参加できる事業数	障がい者が気軽に参加できる運動・スポーツプログラムの提供数、参加者数	-	12事業 【10人】	40事業 【40人】
2	運動・スポーツの情報発信強化	スポーツ振興課	運動・スポーツに関心がない区民や、関心があっても運動・スポーツに取り組んでいない区民の背中を押せるような、魅力的な事業を企画するだけでなく、そうした情報が区民に届くよう、発信の強化に取り組みます。 興味をひくチラシやポスターを作成するだけでなく、新たな配布先・展示先の開拓、ホームページやSNSといったメディアの活用など、より多くの区民が運動・スポーツに取り組むことができるよう情報発信を充実させていきます。	区の運動・スポーツ関連ホームページへのアクセス件数	区ホームページ（「スポーツ」「スポーツ施設」「健康づくり（の一部）」）への年間のアクセス件数 ※R4実績減のため、目標値変更なし	676,269件	812,958件	780,000件
				スポーツ関連ホームページ数	スポーツ関連ホームページ数	99ページ	229ページ	250ページ
3	他分野との連携事業	スポーツ振興課	健康づくりや福祉分野など、これまで関連の薄かった分野の推進主体と連携し、より多くの区民へアプローチしていきます。例えば、庁内においては、衛生部の推進する企業への健康経営啓発事業と連携し、職場で気軽に行える軽体操など運動・スポーツの普及啓発を行うことで、企業の健康経営に貢献します。	他分野連携事業の実施回数	庁内他所属、スポーツ関係団体以外の団体等との連携事業の年間の総実施回数	-	3回	6回
4	健康づくり・スポーツ活動支援講座	生涯学習振興公社	健康づくり・スポーツ活動実践者や、その活動のサポートをする人の学習講座です。生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのコンディショニング理論や、スポーツ科学の最新情報を提供します。（「あだちウェルネスカレッジ」「スポーツコンディショニング講座」）	講座参加者数	健康づくりやスポーツ科学の最新情報を学ぶ講座の参加者数（年2回開催、定員30人）	40人	63人	- (R5年終了予定)

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 運動・スポーツの楽しみを深める場の提供

施策2-1 身近な場所における運動・スポーツの推進

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	【再掲】文化・読書・スポーツ活動協創推進事業（1-1 No.9）	地域文化課 生涯学習支援課 スポーツ振興課 中央図書館 スポーツ振興課	運動・スポーツを自らの関心に応じて、自分なりに目標をたてて継続していくためには、地域学習センターを中心に展開している「ちよいカル」「ちよい読み」を活用し、様々な情報を取り入れることが肝要です。 運動・スポーツを探求するために、他の分野にふれる講座をみつけるなど、区民の活動に寄与できる事業を展開していきます。	事業実施回数 事業参加者数	分野間で連携した、協創推進事業の年間の総実施回数 《【】は参加者数》	-	752回 【5,954人】	3,360回 【33,600人】
2	学校施設の地域開放	スポーツ振興課	区内小・中学校の校庭や体育館などを、運動・スポーツや文化芸術などの活動団体に提供しています。施設の利用率は非常に高い状況にあります。新たに運動・スポーツをしたい区民が身近に活動できる場所とするため、今後も区が利用調整を図っていきます。	登録団体数	小学校69校、中学校35校の全登録団体（文化団体を含む） ※行政評価指標（4146学校施設の地域開放事業）	1,393団体	1,355団体	1,500団体
3	自宅や職場でできる運動・スポーツの推進	スポーツ振興課	運動・スポーツを実施する手間や時間が負担になっている区民にも運動・スポーツに取り組むことができるよう、自宅や職場でのちょっとした空き時間や通勤中にできるストレッチやトレーニングの紹介など、日常生活の中で気軽に取り組める運動・スポーツを推進します。気軽に行えることと合わせて、健康や美容などの具体的な効果についても示していくことで、運動・スポーツに対するハードルを下げ、目的をもって運動・スポーツに取り組む区民を増やしていきます。	啓発活動の実施回数	区が主催するスポーツイベントにて、啓発活動を行った回数	-	2回	4回
4	運動・スポーツのできる公園の整備	パークイノベーション推進課	公園が多い足立区の強みを活かし、一定のエリアごとに役割や機能を割り振り、個々の公園の性格や特色の違いを明確化した公園整備を行っています。運動・スポーツのできる公園として、ウォーキングコースの改修、ボール遊びのできる設備、健康器具の設置などに取り組み、誰もが気軽に利用できるように環境を整えていきます。	啓発活動の実施回数 運動・スポーツのできる公園の活用	公園等の改修・整備設計・工事の着手件数	-	31件	20件
5						公園の魅力伝えるSNS発信数	-	12回
6	総合型地域クラブとの連携	スポーツ振興課	「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも」を合言葉に、区民が身近に様々な運動・スポーツや文化活動を楽しめる場として、区内9つのクラブが活発に活動しています。クラブとの連携を通して、区民の健康・体力増進を図るだけでなく、絆づくりやコミュニティの活性化にも取り組んでいきます。	委託事業実施回数	9クラブへの委託事業の総実施回数	548回 【26,179人】	417回 【8,748人】	600回 【27,000人】
7	民間施設の活用	スポーツ振興課	より多くの区民の運動・スポーツの機会を創出するために、様々な民間事業者等と連携した事業を計画し、民間事業者等の持つ物的資源を活用することで、新たな活動の場を広げていきます。	提携事業数	民間事業者等（区施設以外）を活用し、区民の運動・スポーツの場や機会を創出した事業数	-	-	3事業 1,000人
8	あだち放課後子ども教室事業	生涯学習振興公社	放課後の小学校の校庭や図書室・空き教室を活用し、小学生の安心安全な居場所を提供する事業。地域で組織された実行委員会が配置する安全管理員（スタッフ）が見守る中、子どもたちが自主的に遊び・学び、様々な体験交流活動を行っています。	児童が安全に体を動かして遊べる場所	「放課後子ども教室」において、校庭や体育館を使って運動あそびができる学校数	小学校全校 (69校)	小学校全校 (68校)	小学校全校 (67校)

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 運動・スポーツの楽しみを深める場の提供

施策2-1 身近な場所における運動・スポーツの推進

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
9	生涯スポーツ施設の管理・運営	スポーツ振興課	区民の運動・スポーツを行う場として、区内生涯スポーツ施設を適正に管理します。管理にあたっては区から委託を受けた指定管理者がそれぞれのノウハウを活かしながら運営しています。	スポーツ施設の改修件数	①大規模改修など、年次計画において予定された年間の施設改修の件数 ②増加目標ではなく、予定件数を滞りなく行うことが目標 ※行政評価指標（21820生涯スポーツ施設改修事業）	8件	2件	10件
10	ウォーキングチャレンジ	スポーツ振興課	年代を問わず取り組める「ウォーキング」を始めるきっかけとして開催しています。一週間の歩数を計測し区に報告することで、自身の日常の運動状況を把握し、その後の運動の継続を促します。	事業参加者数	イベントの参加者数（年1回開催）	-	1,093人	1,500人

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱3 運動・スポーツをささえる人材の育成と活躍の場の創出

施策3-1 運動・スポーツをささえる組織の支援と連携強化

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	スポーツ協会の活動支援	スポーツ振興課	スポーツ協会は区民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に寄与し、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的とし、区民の運動・スポーツの振興、競技力向上、指導者養成、加盟団体の育成支援などに取り組んでいます。 区は、財産の貸付や経費の助成、職員の派遣などを通してスポーツ協会の活動に必要な支援を行います。	加盟団体への後援事業参加者数	スポーツ協会が後援する加盟団体（36団体）の各種事業における年間の参加者数	27,243人	33,582人	50,000人
2	スポーツ推進委員の活動支援	スポーツ振興課	スポーツ推進委員は地域における運動・スポーツの推進役、コーディネーターとして、小学校体力状況調査の指導、学校施設管理運営委員会の運営、各種運動・スポーツイベントの運営サポートなどの活動を行っています。 区は委員の委嘱、研修・会議等の調整、広報紙の作成などを通して、スポーツ推進委員が地域において、円滑に活動することができるよう、支援します。	会議、研修会実施回数	全体会、研修会、運営部会、ブロック会議等の1年間の実施回数、参加人数 ※行政評価指標（4147スポーツ推進委員会活動支援事業）	118回 【1,859人】	59回 【492人】	130回 【1,560人】
3	地域スポーツミーティングの展開	スポーツ振興課	地域の運動・スポーツをささえる団体を中心に、運動・スポーツに関する課題解決に向けて話し合う場です。オランダ連携事業では、障がい福祉サービス事業所や障がいのスポーツ団体が加わり、障がい者へのスポーツの普及やスポーツを通じた障がい者理解の推進について考える場となりました。今後も多様な主体の参加を促し、互いに情報交換・交流することで、連携を深められる機会を創出していきます。	事業参加団体数	1年間に実施し事業に参加した団体・組織の総数（実数）	25団体 【2回】	8団体 【1回】	66団体 【1回】
4	【再掲】総合型地域クラブとの連携 (2-1 No.6)	スポーツ振興課	「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも」を合言葉に、区民が身近に様々な運動・スポーツや文化活動を楽しめる場として、区内9つのクラブが活発に活動しています。クラブとの連携を通して、区民の健康・体力増進を図るだけでなく、絆づくりやコミュニティの活性化にも取り組んでいます。	委託事業実施回数	9クラブへの委託事業の総実施回数	548回 【26,179人】	417回 【8,748人】	600回 【27,000人】

足立区運動・スポーツ推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱3 運動・スポーツをささえる人材の育成と活躍の場の創出

施策3-2 運動・スポーツをささえる人材の育成とマッチング

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	初級バラスポーツ指導員養成講習会	スポーツ振興課	公益財団法人日本バラスポーツ協会公認の制度に基づき、障がい者に運動・スポーツの楽しさを伝えるために必要な、基礎知識や技術を習得できる講習会を、区内において開催します。受講修了者は資格取得のほか、地域において障がい者の運動・スポーツをささえる人材として区の人材バンクに登録され、イベント等でボランティアとしても活動します。 これまでではスポーツ指導者を中心として受講者を募っていましたが、障がい者が運動・スポーツをすることの意義や効果を普及するためにも、今後は障がい者施設や医療機関等への受講勧奨を行っていきます。	初級バラスポーツ指導員登録者数	講習会後に実際に資格の登録を行った人数（累計）	69人	143人	230人
2	ささえる人材のマッチング制度の整備	スポーツ振興課	スポーツ指導者やボランティアなど、地域において運動・スポーツをささえる人材を、学校や総合型地域クラブ、高齢者の介護予防事業などに派遣・紹介する仕組みを整備していきます。地域との結び付きを支援することで、団体・組織における人材不足を補うとともに、運動・スポーツをささえる活動に携わりたいと考える人材が、地域においていきいきと活躍できる場や機会を提供します。	ささえる人材への派遣協力依頼件数	区や地域で行っている運動・スポーツの関連事業にて、「区公認スポーツボランティア」「初級バラスポーツ指導員」などの運動・スポーツをささえる人材に協力を依頼した件数	-	8件 【31人】	35件 【200人】
3	スポーツ関連人材育成のための研修の充実	スポーツ振興課	地域におけるスポーツの価値を高め、健全なスポーツ活動を進めるためには、スポーツ指導者などが、熱中症対策を始めとする安全管理やハラスメント防止について正しい知識を身につける必要があります。そのため、スポーツに関わる多様な人材に対する研修の充実を図りながら、スポーツに関わる多様な人材を育成していきます。	研修回数	スポーツ協会 スポーツ推進委員会 パークで筋トレ講師 その他スポーツ指導員 に対する研修回数の合計	-	8回 【-】	12回 【240人】
4	学校訪問型パラ体験事業	スポーツ振興課	区内全小学校を対象に、バラスポーツの体験授業を実施します。単に競技ルールを覚える授業ではなく、「バラスポーツに取り組む障がい者の立場」と「障がい者を変える立場」になって、バラスポーツに親しみながら障がいのある方のサポート方法を学ぶことで、児童が将来の共生社会実現のための担い手となっていくことを目指します。	事業実施回数 事業参加者数	全小学校を対象に実施した回数 《【】は参加者数》	-	-	全小学校 67回 【6,200人】
5	スポーツ指導者スキルアップ講座	生涯学習振興公社	運動・スポーツ指導者の指導力向上を図るための講習会です。対象者に合わせた運動指導の理論と実践方法を学習し、効果的な運動機能向上の指導案づくりと展開方法をワークショップを通して習得することができま。す。（「運動あそびと体力向上トレーニング（子ども指導編）」・「運動機能向上のためのトレーニング（高齢期指導編）」）	講座参加者数	運動・スポーツ指導の実践力アップのための講座（スポーツ指導者スキルアップ講座）の参加者数 （年8回開催、定員30人） ※R6年度から年4回開催（定員：30人）	192人	53人	120人
6	元気アップサポーター養成研修	地域包括ケア推進課	65歳以上の高齢者を対象に、自主的なグループ活動を継続させていくためのコツや、グループ立ち上げに興味がある方向けの養成研修を行います。 ※R2年度開始	事業参加者数	研修参加者数（実数）	-	45人	150人
7	【再掲】あだち放課後子ども教室体験プログラム「放課後+One」（1-1 No.14）	生涯学習振興公社	自由遊び・自主学習の場である「放課後子ども教室」に、体験交流活動を+One（プラスワン）するプログラムです。放課後子ども教室を運営する実行委員会が実施しています。実行委員会は、「①見守りスタッフの声かけにより、児童が自主的に遊ぶことのできるプログラムを展開する」「②ボランティア等、地域の人材を活用する」手法で、主体的に継続可能なプログラムを行っています。公社は、周知等実施時の事務的支援や遊びに関する情報提供などを行っています。運動プログラムは、スポーツを楽しむきっかけづくりを目的として、スタッキング、モルック、手打ちテニスなどを展開中です。	運動プログラム実施校	「放課後子ども教室」における運動プログラム（スポーツを楽しむきっかけづくり：スタッキング、モルック、手打ちテニスなど）の実施校数	30校	7校	小学校全校 （67校）